



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。  
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

# JOCオリンピック教室

## 実施報告書

秋田県 三種町立八竜中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会



## 「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和6年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、  
オリンピック自身の様々な経験を通して  
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、  
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、  
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学校2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2024年4月～2025年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

## 1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、  
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす  
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



## 2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた  
オリンピックの価値を生徒に伝え、  
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介  
学習内容の確認



準備体操



主運動  
(作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ  
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。  
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■オリンピック：山田 優梨菜 先生（スキー／ジャンプ）【出場オリンピック／ソチ2014冬季大会】

■期 日：2024年9月6日(金)

■ク ラ ス：2年A組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・ソチ2014冬季大会のスキー／ジャンプ競技に出場したと自己紹介。オリンピックバリューについて説明し、運動の時間は楽しみながらオリンピックバリューを意識してほしい。準備体操後、体育館の床のライン上だけを移動して、指定した順番に全員が並ぶゲームを実施。1回目は出席番号順に並び、2回目は誕生日の早い順番に並び、整列が完了した時間を計測する。移動中は足を止めずに歩き続け、途中で友達と対面しないように、進む先を見ながら上手く歩く。

○主運動等



・主運動は滑走リレーを実施(全3回)。片足にモップシューズを履き足を滑らせながら前に進み、折り返し地点を回って戻り次の人がスタートする。順位にポイントを付け、3回の合計ポイント数を競う。1回目はモップシューズを右足に履き、2回目は左足、3回目は左右どちらに履いても良い。途中、作戦タイムを設け、走順や上手く滑る方法を班で話し合う。体の重心を低く前傾姿勢で滑ると良いとアドバイス。ジャンプ競技でも、重心の位置やバランスはとても重要だ。



・運動の時間を振り返り、生徒に感想を聞くと、ライン移動、滑走リレー共に仲間と協力することや、声を掛けたり応援することでチームワークが良くなり、全員で楽しむことができたと答える。また、今日の経験を部活動の新人戦に生かして頑張りたいという意見も出る。座学の時間は、運動の時間に感じた気持ちを振り返り、オリンピックバリューについて一緒に考える時間にしたと話し、授業終了。

■ **オリンピック**：山田 優梨菜 先生（スキー／ジャンプ）【出場オリンピック／ソチ2014冬季大会】

■ **期 日**：2024年9月6日（金）

■ **ク ラ ス**：2年A組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・競技映像とスライドを見ながら自己紹介。9歳からジャンプ競技を始め、小学校6年生で初めて国際大会に出場。オリンピック出場を目指し頑張っていた16歳の時、大怪我をして1年間治療に専念しなければならなかった。その間、家族や周囲の人に支えられながらリハビリに励み、目標に向かって諦めずに努力をした結果、翌年にオリンピック出場の夢が叶った。オリンピックシンボルの5つの輪は、世界の団結と平和を願って作られたと説明。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：日常生活の中でどんな時にオリンピックバリューを考え、行動するかを書いてみよう。

発表：エクセレンス：「部活動、毎日の勉強、習い事、運動会、文化祭」「目標に向かって努力する」「失敗しても諦めない」等

フレンドシップ：「毎日の会話、学校行事、給食、掃除」「声を掛け合う」「チームワークを大切にする」「応援する」等

リスペクト：「部活動、家族、仲間、先生、監督」「送迎に感謝」「先生の指導に感謝」「仲間の支え」「挨拶」「家族を尊敬」等



・座学の時間を振り返り、オリンピックバリューはオリンピックだけのものではなく、皆の日常生活の中にあり、深く関わっている。友達や先生、家族の支えに感謝することを忘れないでほしい。これから様々な挫折や困難に直面することもあると思うが、諦めずに努力し続けること、そして今日学んだオリンピックバリューを思い出し、決して1人ではないので、友達や家族と一緒に乗り越えてほしいと話し、授業終了。

■集合写真

・2年A組



■記念品贈呈

・2年A組



■修了証贈呈

